



おかむら通信 第122号

平成27年6月

ごあいさつ

皆様、お元気にお過ごしですか？とつても暑い日が続きます。ご高齢の方々、体力の低下された方にはお体をご自愛くださいませ。

最近、思い悩むにつれ「人間とはなんなのだろう？」と自問自答している自分に気が付きます。人間は、実はよわいもの、うそをつくもの、うらぎるもの、わるいことも平然とできてしまうもの。しいては、自分の都合で、人を殺しもするものと。それだから、どうしよう。だからこそ、人を（他人を）愛する努力をしようではないかと。

今月の言葉

*「これから進みゆく貧困・今あちこちでおきている差別行動、そして全国のほとんどの地域に存在する危険極まりない原発；結局いまこの日本を背負っていくべき若い方々やもの言えぬ弱い人たちにしわ寄せがいかないようにはどうしたらよいか？」もちろんみなさまの受ける医療にも影響します。まぜなら病気の方々が一番すみにおいやられるからです。院長

*世界から物事を見る力をつけてください。まずは英語を使って、英語はただの道具です。流暢に喋る必要はありません。たくさん地球上的の方々と友達になってください。そうすると見えてきますよ。大切なことが。

私の出身校に最近赴任した先生から

院長から、

*ペニシリンが使えない方のピロリ菌の除菌法について

実は、保険がつかえませんが、除菌法はほぼ、確立しています。

*Spria Grande (64列マルチスライスCT)

でないといけない検査とは？

血管造影です。私が大学でやっていた非常に負担の大きい検査の、ほとんどすべてできるのです。この

クリニックで。脳血管造影、肝動脈造影、脾、腎、大動脈、下肢血管造影、上肢は今月に予定しています。その他にもありますのでのちに紹介いたします。

*05/25にやっと、院内アピールボードが出来上がりました。過剰な宣伝は原則としてできませんので、字は小さく、控えめな絵になっています。字は見にくいかもしれせん。

*外部変化と内部変化について (体の)

外はよく見えます、中は見えないのが普通ですね。それをあらゆる手段をつかって中を見通す、そして、今、存在し変化しつつある病態を把握するのです。それが医師に求められる術なのです。少なくとも私はそう思います。

*よく言う「総合診療 general practice」がわからない、という方のために

当院の General Practice というのは、簡単に言うと、たくさんある専門領域の臨





末においてたとえば脳・甲状腺・乳腺・胸部・肺・腎・肝・胆・脾・心臓・血管・精神・婦人科・泌尿器・小児・整形・眼科・老人・下肢動脈 などにおいてそれぞれの病気に対する知識・臨床能力が部分的に突出していて、とがった太めの棒を持っているようなものなのです。わかりますか。そう、全部把握しているのではなく隙間があるのです。しかし最前線、先端のものは把握していないといけないのです。日本に昔からおられる、(失礼ですが、何でもあさく見る) 鼻かぜ医者ではありません。

*乳がんが心配なら

検診もいいですが、当院のデジタルエコーとエラストグラフィーをしてみてください。乳腺専用のエコーとがん専門病院クラスでなければ設置していないエラストグラフィー(保険外ですが)でお待ちしています。

*無症状について

ほとんどの方が自覚症状がないことと病気が存在していないことを同一視されているようです。日常のお仕事、生活において忙しいあまり気が付かないのは無理はありませんね。われわれドクターはだからこそ、いわば未病の時点で隠れた疾病を発見し、のちに起こる病気を予測すべきなのです。

*脾疾患について

最近感ずるのは、大学の先生でも、さすがに重病の画像の描出、診断には優れていますが、例えば脾臓の微妙な負荷、慢性化へ向かう所見、一過性の変化などは苦手なようです。中学・高校・大学の学生や就学直後の会社員のストレス、食事・飲み物などの過剰摂取による軽症ではあるが症状のきつい病変はきちんと画像に現れています。

○5月の院長の活動紹介

- 01/ (金) あたらしい治療機器 (DMC) 導入。ペインクリニックのため 当院
- 7/ (木) 夜間小児救急センター当直 市立病院にて
- 13/ (水) 牧の原小学校・内科検診
- 14/ (木) 電子カルテ・PACS 間、画像表示連携処理、FUJI 技術者と 当院
- 15/ (金) 松飛台小学校・内科検診
- 19/ (火) 松戸市医師会定例理事会 衛生会館
- 20/ (水) 松戸国際高校・職員相談と内科検診
- 22/ (金) 乳がん検診部会 衛生会館
- 29/ (金) 松戸市医師会定時総会
- 31/ (日) ちびっこサッカー ドクターとして支援ボランティア 主水グラウンド

ふっと、思い返したら
 おかむら通信 第1号は、あつという冊子の10年でしたあー。
 H17. 4. 30 ~ 始まりました。ご
 老後の楽しみにと、大切に保存しています
 <担当> 佐藤です。

